

## 第2学年国語科学習指導案

日時 平成18年10月20日(金)6校時

指導者 福士 睦

児童 男6名 女5名 計11名

1 単元名 友だちに分かるように話そう 「あったらいいな、こんなもの」

### 2 単元について

#### (1) 主な目標

本単元の主たる指導事項は、「身近な事柄について、話題に沿って話し合うこと(ウ)」、「知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら相手に分かるように話すこと(ア)」である。この力を育てるためには、話し方の工夫や大事なことを落とさずに聞き、話題に沿ってやり取りすることが大切である。

そこで本単元では、「あったらいいものについて楽しく空想し、友達と質疑応答することで詳しくなることを知る。」こと、「自分の考えたものについて、話し方に気をつけて発表し、みんなに知らせる。」ことを主な目標とする。

#### (2) 児童の実態

児童はこれまで「ともさんはどこかな」で、大切なことを選んで順序よく話すこと、人物の特徴など大事なことを落とさずに聞くことを学習してきている。日常活動でも朝の会のスピーチや各種感想発表など話したり聞いたりする活動を行ってきている。その結果、話すことが好きな児童が多くなってきた。しかし、順序立てて話したり分かりやすく話したりすることは、まだ充分とは言えない。また、聞かなければならないという意識はあっても、日常の場面を観察すると、聞くことが苦手が必要な事項を聞きとれていないことがやや多く、話題に沿って友達と上手に話し合ったり伝え合ったりすることもまだ不十分である。この単元の学習を通してこれらの力をつけていきたいと考える。

#### (3) 指導にあたって

この単元では、まず児童の「話したい」という思いを高めることが大切である。そこで導入段階ではビデオなどを利用して興味関心を高め、児童の目的意識を高めたい。また、学習活動中に応答を取り入れることで相手意識を持たせ、聞き手と話し手の立場に交互に立ち「尋ねたり応答したりすること」を通して、話題に沿って楽しみながら伝え合う力を育てていきたい。指導と評価の一体化を図るためには、評価規準や振り返りカードをもとに計画的に個々を見取り、次への学習の手立てを明らかにし指導していきたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 関心・意欲・態度

あったらいいなと思うものに興味関心を持ち、相手に分かるように話したり、友達に伝えたりしようとしている。

#### (2) 話すこと・聞くこと

自分で考えたものについて、話す順序を考えながら、聞き手に分かるように話し方を工夫し話すことができる。

話し手の考えたことに対して、話し合っただけで考えを深めることができる。

#### (3) 言語事項

姿勢や口形に気をつけて、はっきりした発音で話すことができる。

丁寧な言葉遣いで発表することができる。

4 学習指導計画（14時間扱い）

前単元から

「ともさんはどこかな」

迷子を探し出せるように、迷子の特徴となる大事なことを選び、順序よく話す。

迷子の特徴を聞き落とさないように、注意して聞く。



| 段階   | 主な学習活動（時間）                            | 学習活動の工夫   | 主な評価規準  |
|------|---------------------------------------|---|---|
| みとおす | ○「あったらいいな」と思うものを想像し、学習の見通しをもつ。<br>(3) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラえもののビデオなどを利用して興味付けを図り「あったらいいな」と思うものを考えさせる。</li> <li>・学習の計画を立てることで、発表会の目的意識・相手意識をしっかりと持たせる。</li> </ul>   | <p>「あったらいいな、こんなもの」の学習内容に興味をもつことができる。</p> <p>(観察・発言)</p> <p>「あったらいいな」と思うものを考えようとすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p> <p>どんな発表会をするのか知り、学習のめあてをもつことができる。(観察・発言)</p>                      |
| ふかめる | ○二人一組で、発表の内容を相談する。(3)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・CDを活用し話し合いで大事なこと、目的を確かめ、二人組でやり取りをさせる。</li> </ul>  | <p>考えた中から友達に知らせたいものを選ぶことができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p> <p>話し合いの目的を知り対話の仕方を知ることができる。</p> <p>(観察・発言)</p> <p>二人組になって話題に沿って対話をするすることができる。</p> <p>(観察)</p>                               |
|      | ○発表会の練習や準備をする。(5)                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードに名前、どんな物かどんなことができるかななどを項目毎に書かせ、話すことをまとめさせる。</li> <li>・話す内容を事柄毎に分けてカードに書かせ、カードのまとめ毎に順番を考えさせ練習させる。</li> <li>・聞き手は、発表をよく聞き、相手が上手に発表できているかワークシートを参考に確認させアドバイスさせる。</li> </ul> | <p>話す内容をカードや絵に事柄毎にまとめ、話す順序を考えることができる。(観察・カード)</p> <p>聞き手によく分かるように話し方を考えることができる。(観察)</p> <p>二人組になって聞き手に分かるように発表の練習をすることができる。(観察・発言)</p> <p>話し方、聞き方について意識し、発表会の準備をすることができる。(観察)</p> |

|      |                        |  |   |
|------|------------------------|--|---|
| まとめる | ○発表会をする。(3)<br>本時2 / 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の場を工夫し、発表会の気分を盛り上げさせる。</li> <li>・発表を聞いてすぐに感想をメモし、その後で質問や感想を言うようにさせる。</li> <li>・メモを清書し、感想カードとして話し手に贈ったり、自分の発表を振り返ったりさせる。</li> </ul> | <p>聞き手に分かるようにまとめ<br/>毎に順序よく話している。<br/>(観察・発表)</p> <p>感想カードを贈り、発表会の<br/>感想をまとめることができる。<br/>(発言・観察)</p> |
|------|------------------------|--|---|



次單元へ

すすんで話したり聞いたりしよう「何に見えるかな」  
「何に見える」「なぜ、そう見える」という話題に沿って話し合う。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

関心・意欲・態度

「あったらいいな」と思うものについて分かりやすく発表したり聞こうとしたりしている。

話すこと・聞くこと

「あったらいいな」と思うものについて聞き手に分かるようにまとめ毎に順序よく話すことができる。

友達の発表を聞き、質問や感想などを述べることができる。

言語事項

姿勢や口形に気をつけて、はっきりした発音で話すことができる。

丁寧な言葉遣いで発表することができる。

### (2) 本時の指導にあたって

本時は、自分で考えた「あったらいいな」と思うものをみんなに分かるように発表し、感想を交流する場面である。

そこで、話し手と聞き手の距離や空間を工夫し、児童の気持ちを盛り上げたい。また発表者には、声の大きさ、姿勢等にも気をつけさせ、聞く方には友達の発表後に感想を伝えられるようにさせたい。話の順序に気をつけて、考えたことを落とさずに発表できるように支援の必要な児童には発表メモを活用させたい。

「まとめる」の2時間目なので、前時に良かった点や感想を紹介し、さらによりよい発表をさせるようにしたい。

(3) 展開

| 段階                              | 学習活動（主な発問・児童の反応）   | 指導上の留意点（・支援 評価）  |
|---------------------------------|--|--|
| み<br>と<br>お<br>す<br><br>7<br>分  | <p>1 前時の活動を想起する。<br/>前時は、どのような学習をしましたか。</p> <p>2 本時の学習内容、課題をつかむ。<br/>今日の課題を確かめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>お話上手、聞き上手になって、「あったらいいな」と思うものをはっぴょうしよう。</p> </div> <p>3 発表の仕方や聞くときに大切なことを確かめる。<br/>何に気をつけて発表したり聞いたりすればいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す・・・声の大きさ、話す順序など</li> <li>・聞く・・・大事なことを落とさずに話の後で思ったことを言えるように</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の活動を振り返り、特に良かった点や感想を紹介し、本時の学習の意欲を高めさせる。</li> <li>・発表の目的や相手を確認しそれらを意識して本時の活動ができるようにさせる。</li> <li>・話すこと、聞くことで落としてはいけない大事なことを確認させる。</li> </ul>  |
| ふ<br>か<br>め<br>る<br><br>30<br>分 | <p>4 「あったらいいな」と思うものの発表会をし、互いの発表を聞く。<br/>机を移動させ、発表会を始めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の発表</li> <li>・感想カードへのメモ</li> <li>・聞き手の質問や感想</li> <li>・先生から</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・机の並び方を変え、話し手と聞き手の距離等を考慮し、発表させる。<br/>「あったらいいな」と思うものについて話す順序を考えながら、聞き手に分かりやすいように話し方を工夫して、話したり聞いたりしようとする。<br/>(観察・ワークシート)</li> <li>・うまく発表できない児童には発表メモを見て話すようにさせる。</li> <li>・姿勢や口形に気をつけ、はっきりした発音で話すようにさせる。</li> <li>・丁寧な言葉遣いで発表することができるようにさせる。</li> <li>・ちょうどよい声の大きさを話をするときの内容が伝わりやすいことを実感させる。</li> <li>・発表の態度や声の大きさだけでなく友達のアイディアや中身についての感想を述べている子を誉める。</li> </ul> |
| ま<br>と<br>め<br>る<br><br>8<br>分  | <p>5 学習の振り返りをする。<br/>今日の学習の感想を書きましょう。</p> <p>6 次時の活動の確認をする。<br/>次の時間は、感想メモを清書してお友達に贈りましょう。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに感想を書かせ、自分の発表や聞き方についての自己評価をさせる。</li> <li>・友達に自分の考えを話したり、聞いたりすることの楽しさを再確認させ、次への意欲を高めさせる。</li> </ul>   |

(4) 具体の評価規準と手立て

|    | A (十分満足)   | B (おおむね満足)                                    | C (努力を要する子への支援)                       |
|----|--|---|---------------------------------------|
| 話す | あったらいいなと思うものについて聞き手に分かるようにまとめ、毎に順序よく適切な音量や速さで話すことができる。 | あったらいいなと思うものについて聞き手に分かるようにまとめ、毎に順序よく話すことができる。 | 発表メモを見ながら順序よく発表するようにさせる。              |
| 聞く | 友達の発表したものを正確に聞き取り、内容に関わる質問や感想を的確に述べることができる。            | 友達の発表したものを聞き取り、内容に関わる質問や感想を述べるができる。           | ものの名前や理由などを落とさずに確かめながら聞かせ、質問や感想をもたせる。 |

《座席表》 教室

教卓

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

《座席表》

発表者

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

## 板書計画

めあて

お話し上手、聞き上手になって、  
「あつたらいいな」と思うものを  
はっぴょうしよう。

話しかた・・・声の大きさ

話すじゆんじよ

聞きかた・・・だいいじなこ

名前

わけ

話のあとで思ったことを話す

学しゆうのながれ

はっぴょう

メモ

しつもんやかんそう

まとめ